



響きわたった伝統の「歌声の栄中」

先日の合唱コンクールに際し、多くの保護者の方、地域の方から足をお運びいただき誠にありがとうございました。「歌声の栄中」という伝統をしっかりと引継ぎ、そして、その伝統を3年生がさらに発展させてくれました。

生徒の皆さん。開会式でも話をしましたが、合唱は「唱（歌う）を合わせる」という意味です。一人で歌を歌う時は他の人と合わせる必要はありませんが、合唱はそうはいきません。音程を合わせる、歌詞のタイミングやリズムを合わせる、強弱を合わせる等、様々に合わせる事が必要となります。つまり「協調性」が必要となります。合わせることは大人になった時にも必要であり、社会に出た時の必要なスキルです。

練習では、合わせるために、様々なハードルがあったのではないのでしょうか。それらを一つ一つ乗り越えてきたと思います。そこで学んだのが協調性です。ぜひそれを今後の学校生活でも生かしてください。

本番のステージでは、今までの練習の成果を充分に発揮し、さらに、心を込めた気持ちの入った合唱となりました。クラスが呼ばれ、みんなで気持ちを合わせ返事をする場面から、全てのクラスが「今できる精一杯の表現をするぞ」という気持ちが伝わってきて、そして、すばらしい合唱を発表してくれました。体育館いっぱいに歌声が響き、そして、ステージ上に素晴らしい表情が多く見られ、伝統の「歌声の栄中」を体感することのできる一日となりました。結果的には賞が着きましたが、全てのクラスに良さが目立ち、審査員の吉成先生も「本当に、甲乙着けがたい」と言っておられました。

最後に、今後は委員会や生徒会活動の引継ぎが行われます。日々の諸活動での良さを生かし、改善すべき点は改善策を考え、令和6年度の総括をしていきましょう。

(文責；校長)



1年3組



2年2組



3年3組